

文化財学習会

ふるさと探訪

テーマ 讃岐国分寺跡周辺を訪ねて

講師 鎌田 良博さん

日時 令和8年3月1日(日)

共催

高松市文化財保護協会

高松市教育委員会

文化財学習会

# ふるさと探訪

テーマ：讃岐国分寺跡周辺を訪ねて

講師：鎌田 良博 さん

令和8年3月1日(日)9:30~12:00

【探訪距離：約5km】

(出発) 讃岐国分寺跡資料館 → 如意輪寺公園 (ヤブツバキ・桜) → 田宮坊太郎の墓 → 國分八幡宮・磐座 → 遍路道・丁石 (2丁目~11丁目) → 特別史跡 讃岐国分寺跡 → 讃岐国分寺跡資料館 (解散)



## ★<sup>によいりんじ</sup>如意輪寺公園 ヤブツバキ〔市指定 天然記念物〕

如意輪寺公園は約 4.2ha の中に多目的広場や展望台などの施設があり、遊歩道には桜並木があります。平成 10 年(1998)には如意輪寺瓦窯跡が発見されています。いずれも長さ4mほどの小規模な窯で、国分寺あるいは国分尼寺の補修のための瓦を作っていた可能性があります。

付近には樹齢300年以上と言われるヤブツバキがあり、毎年3月の彼岸ごろに見ごろをおかえます。



## ★田宮坊太郎の墓

寛永元年(1624)国分八幡馬場において、田宮源八郎が堀源太夫左衛門に討たれ、源八郎の一子小太郎(又は坊太郎)が寛永17年(1641)17歳の時、金毘羅大権現のご利益によって父の討たれた地においてあだ討ちをしたという。「金毘羅利生記」などの史料にその様子が記されています。

※丸亀市の玄要寺に田宮坊太郎の墓と言われる五輪塔があり、近くに父源八郎が住家という石碑が建っています。

## ★國分八幡宮

祭神:神日本磐余彦火々出見尊(神武天皇)・足仲彦尊(仲哀天皇)・息長足姫尊(神后皇后)・  
誉田別尊(応神天皇)

天正年間(1572~1592)兵火にかかり、社殿宝物などを焼失。慶長2年(1597)生駒親正公により再興。毎年吉例として武術試合を奉納。親正の子、一正もまた鳥居を奉納。寛永2年(1625)大地震のため本殿などが損壊し、新たに造営するも方治年間(1685~1661)に炎上。その後、現社地に遷る。本殿裏には社殿が成立する前の御神体である磐座(いわくら)があり、香川県内でも非常に珍しく、明治初期には磐座の下から鏡や勾玉が見つっていますが、現在所在不明。



## ★丁石

1丁(約109m)ごとに設置された案内のための石。遍路道の丁石は舟形の石に地藏菩薩と丁数を刻んだものが一般的です。今回は旧遍路道に残る10丁目・11丁目から2丁目までをたどります。

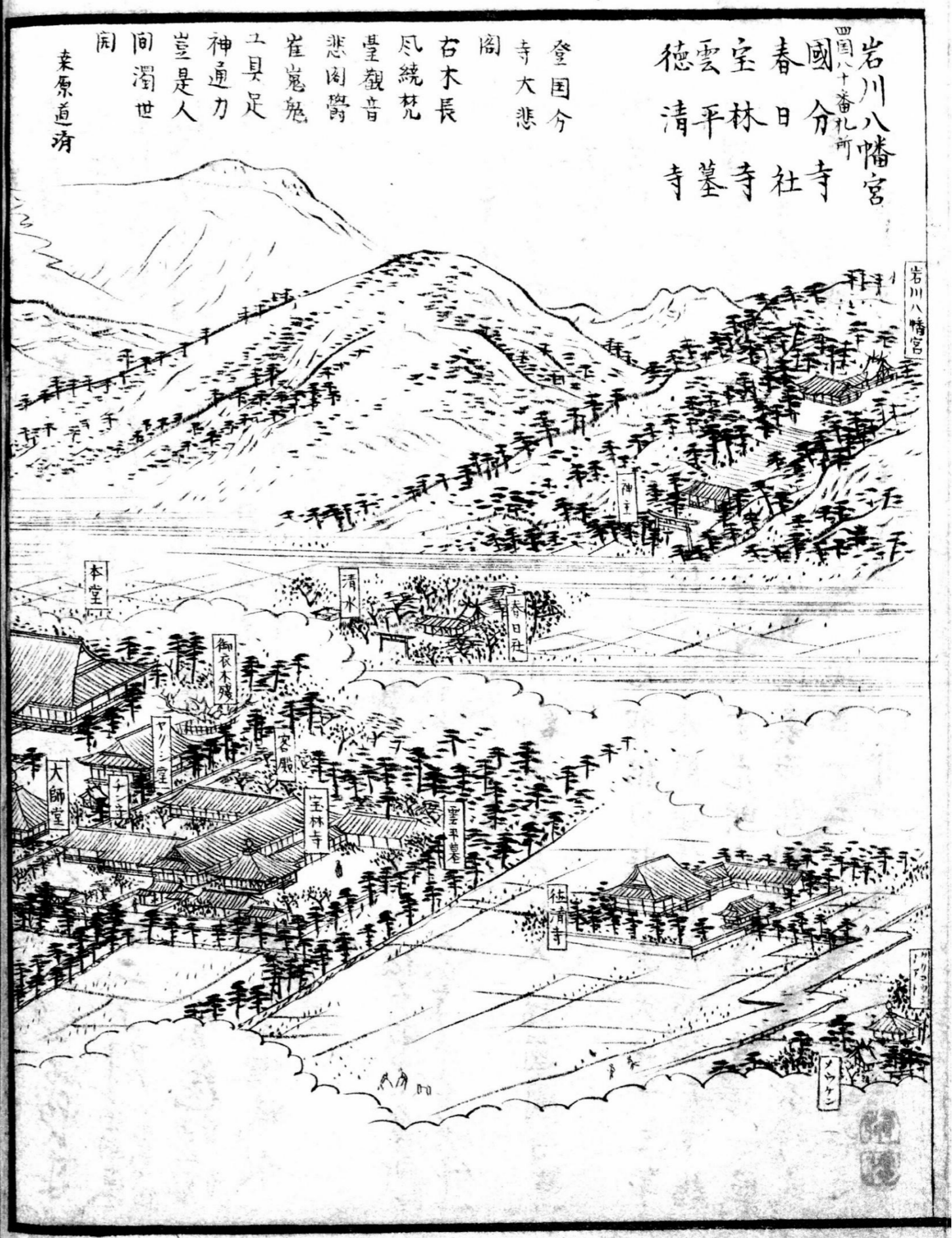
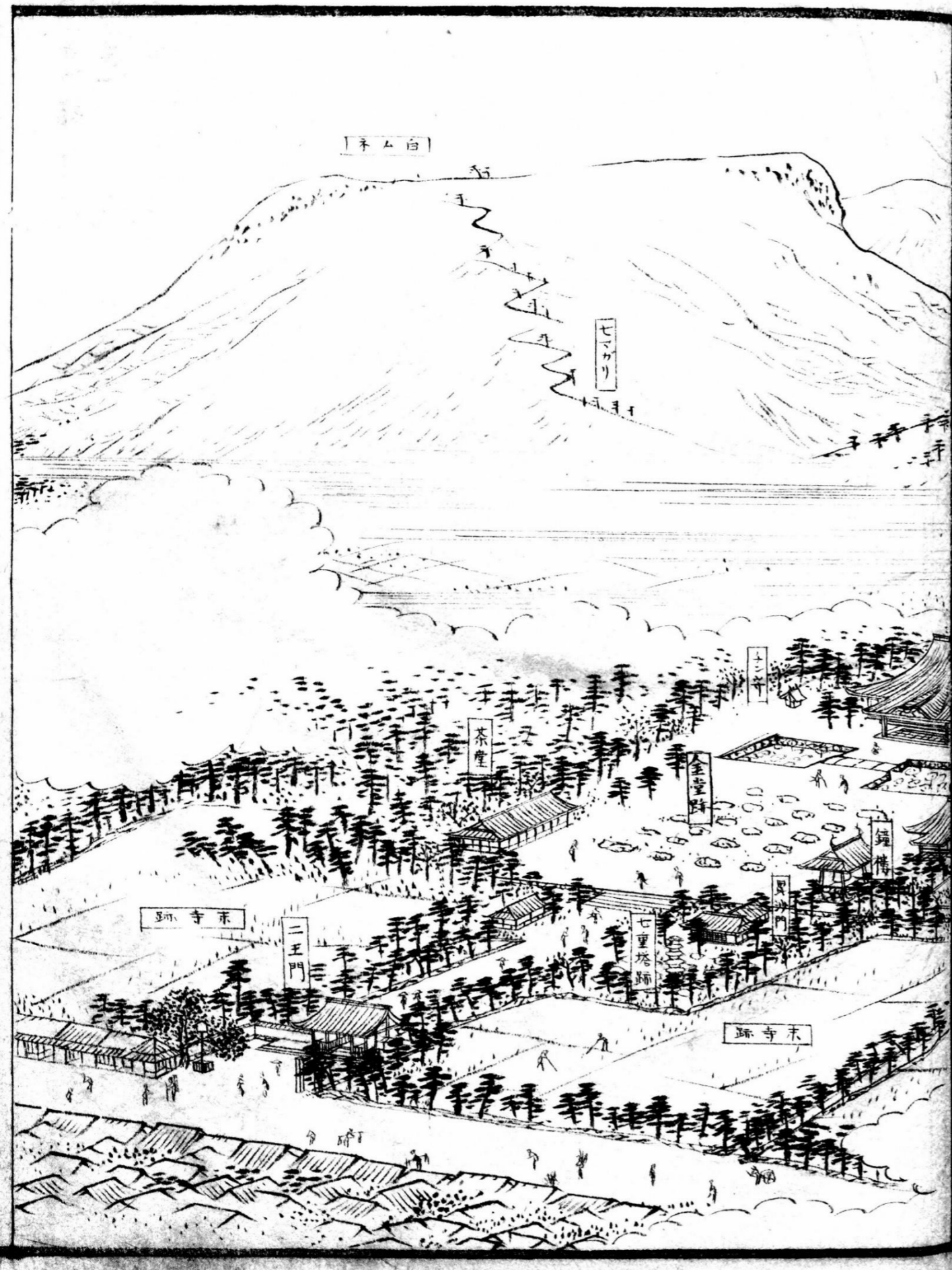
## ★讃岐国分寺跡〔国指定 特別史跡〕

天平13年(741)聖武天皇の命により全国に建立された国分寺の一つ。現在の国分寺は四国霊場八十番札所であり、現本堂(旧講堂跡)は鎌倉時代後期の建物で国の重要文化財に指定されています。

境内には金堂跡・塔跡の礎石がほとんど残っており、遺構の残存状況がよいことから、昭和27年(1952)には、現国分寺の寺域を含めて東西約 330m・南北約 240mが特別史跡に指定されています。



特別史跡:国が文化財保護法で指定した史跡のうち、特に価値の高いもの。  
有形文化財(建造物や美術品)でいう「国宝」に相当します。



岩川八幡宮  
 四國八十番札所  
 國分寺  
 春日社  
 宝林寺  
 雲平墓  
 德清寺

登国今  
 寺大悲  
 閣  
 右木長  
 夙統梵  
 豊觀音  
 悲閻摩  
 雀鬼魁  
 工具足  
 神通力  
 豈是人  
 間濁世  
 閑  
 素原道清